

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	1-2-2			事業名	いじめ・不登校対策の推進事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
小学校の相談時間数	-	月2時間	月4時間	月4時間	月4時間	月4時間 (20年度)	
中学校の相談時間数	週6時間	週6時間	週8時間	週8時間	週8時間	週8時間 (20年度)	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 各学校のホームページや学校便り、スクールカウンセラーによるカウンセラー便りなどで、保護者や地域に広く啓発している。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] (該当なし) [人材協力] (該当なし) [情報協力] (該当なし) [その他の協力] (該当なし) 市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)</p>							
評価(成果)			課題				
<p>各学校における、スクールカウンセラーの相談件数も増えており、特に、中学生や高校生とその保護者に広く理解され、これまで、相談内容として不登校に係わる内容が主だったが、不登校以外の相談内容も多くなり多岐にわたっている。 学校がフリースクール等の民間施設に直接訪問して、施設に通っている自校の不登校児童生徒の様子について情報交換するなど、学校との連携が深まっている。</p>			<p>スクールカウンセラーが、全ての小学校、中学校、高等学校に配置されたことから、スクールカウンセラーの人数も増え、年齢や経験年数等、様々なカウンセラーを任用しなくてはならない状況にある。こうしたことから、スクールカウンセラーの質の向上が課題である。 市内には、様々なフリースクール等の民間施設があるため、全てを把握することが困難であることと、それぞれの施設で経営方針等の違いもあり、連携の範囲が定まらない。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>スクールカウンセラーの質の向上やいじめの根絶、不登校の改善に向けた、効果的なスクールカウンセラーの活用について検討していく。 また、フリースクール等の民間施設について、どのような施設と連携していくのか、学校とフリースクール等の民間施設の連携強化について検討していく。</p>							

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		1-2-2			事業名	いじめ・不登校対策の推進事業				
事業費の推移										
項目				19年度	20年度	21年度	22年度	計		
計画	事業費			24,048	109,323	109,323	109,306	352,000		
	財源内訳	国・道	支出金	0	0	0	0	0		
		市	債	0	0	0	0	0		
		その他		0	0	0	0	0		
		一般財源		24,048	109,323	109,323	109,306	352,000		
予算	事業費			24,048	79,124	79,124	-	182,296		
	財源内訳	国・道	支出金	0	0	0		0		
		市	債	0	0	0		0		
		その他		0	0	0		0		
		一般財源		24,048	79,124	79,124		182,296		
実績	事業費			24,048	79,124	-	-	103,172		
	財源内訳	国・道	支出金	0	0			0		
		市	債	0	0			0		
		その他		0	0			0		
		一般財源		24,048	79,124			103,172		
事業費の進捗率				(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)						51.8%
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
(全体)										
[19年度]										
[20年度] 平成19年度は、中学校の相談時間が週6時間、小学校は月2時間であったが、平成20年度は、中学校の相談時間を週8時間に、小学校の相談時間を月4時間に増やしたため、その分の予算が増えている。										
[21年度]										